

令和3年度 さつきの里看護小規模ケアホーム アンケートの集計

R4.1

↓()は、世帯数																
R3	14(13)人/15人中 回収、回収率93.3%	1.よく...			2.まあ...			3.あまり..			4.まったくわからない			回答なし		
R2	14人/16人中 回収、回収率87.5%	R1	R2	R3	R1	R2	R3	R1	R2	R3	R1	R2	R3	R1	R2	R3
R1	16人/18人中 回収、回収率88.9%	R1	R2	R3	R1	R2	R3	R1	R2	R3	R1	R2	R3	R1	R2	R3
(1)	職員は、ご家族の困っていること不安、求めていること等の話をよく聞いていますか？	15	12	10	1	1	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0
(2)	ケアホームでのご本人のご様子や健康状態、職員の異動などについて、ご家族にご連絡ができておりますか？	14	9	12	2	3	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
(3)	職員は、ご本人の介護計画をご家族にわかりやすく説明し、一緒に、内容に関する話し合いをしていますか？	14	10	12	2	1	0	0	1	0				0	0	1
(4)	職員は、ご本人の思いや願い、要望などをわかってくれていると思いますか？	14	8	8	2	4	4	0	0	0	0	0	0	0	1	1
(5)	職員は、ご家族やご本人のその時々状況や要望に合わせて、柔軟な対応をしていますか？	13	11	10	3	2	3	0	0	0	0	1	0	0	0	0
(6)	ケアホームを利用するようになって、ご本人の生き生きとした表情や姿が見られるように	12	10	9	2	3	4	0	0	0	2	0	0	0	1	0
(7)	ご本人は、職員の支援などで、戸外の行きたいところへ出かけられていますか？	7	3	4	3	6	3	2	2	4	4	1	2	0	0	0
(8)	ケアホームを利用されていて、健康面や医療面、安全面について心配な点はないですか？	8	9	7	8	4	5	0	0	1	0	0	0	0	0	0
(9)	ケアホームは、ご家族が気軽に訪ねて来られやすい雰囲気ですか？	9	10	8	5	3	4	0	0	1	0	0	0	2	0	0
(10)	ご家族から見て、職員は生き生きと働いているように見えますか？	13	12	10	1	2	4	0	0	0				1	0	0
(11)	ご家族からみて ご本人は今のサービスに満足されていると思いますか？	14	11	11	0	2	1	1	0	0	0	0	0	1	0	0
(12)	ご家族は、今のサービスに満足されていますか？	12	8	8	3	5	5	0	0	0	0	0	0	1	0	0
(13)	その他、なんでもご意見を記入してください。	<p>*大変お世話になっております。 *寒い時の送迎は大変だと思えます。皆さんの暖かい思いやりにありがたく思います。だんだん、すべての事に手がかって来る本人を介護してくださって、お願いして良かったと思うこの頃です。これからもよろしくお願いします。 *家族も気付かない体調の変化等教えてくださり助かっています。介護疲れを感じないように、細やかな配慮で支えて下さり、有難いと思っています。 *家に帰ることは無理と言われていたのですが、みわ記念病院的「在宅療養支援病院」の体制があったことで、奇跡的に自宅に帰れ、コロナ禍でまったく会えない状況から一変し、大変うれしく感謝しています。私が心配性のうえ、人と接することが苦手なので、どうなるかと不安だったのですが、さつきの里のスタッフの皆さんが、優しく声をかけて下さり細やかに介護の方法を手取り足取り教えて下さる上、行き届いた介護で今は安心して、孤独感もなく、みんなで母を支えている気持ちで豊かな気持ちになります。家では、食事とおむつ変えしかしていませんが、ケアホームでは、利用者の方と一緒に食事をしたり、気切の行事も丁寧にして下さるので、刺激が多く、急激にできることが増え、一人で食べたり、食形態もペーストから刻みにあがったり、と意欲的になり、表情もここにこよい表情です。細やかに看護していただいたみわ記念病院とつながりもそのまま、先生も定期的に訪問してくださり、リハビリも定期的にありで、母も安心して、充実した生活が遅れていること感謝です、今後もいろいろと迷惑をかけることがあると思えますが、(母も私も) よろしくお願いたします。 *いつも親身に相談にのっていただいて、非常に感謝しています。医療的なこと、保険のこと、介護サービスについて、無知な家族にわかりやすく説明していただけることが非常にうれしい。母は最初サービスを受けることに嫌悪感持っていましたが、いつの間にか、今度はいつ行けるかなあと指折りかぞえる日々を迎え、職員の方を「さつきの〇〇ちゃん」と下のお名前と呼ぶようになっています。いつも優しく接していただいていることが一見してわかります。本当にありがとうございます。</p>														

< 運営推進会議における評価_様式例 > ※公表用

【事業所概要】

法人名	医療法人 みわ記念病院	事業所名	さつきの里看護小規模ケアホーム
所在地	(〒719-0106) 岡山県浅口市金光町地頭下284-1		

【事業所の特徴、特に力を入れている点】

住み慣れた地域で、「認知症になっても」「療養をしながらでも」「最期を家族と迎えることも」、さつきの里の目標である「おもてなしの心をもって」を掲げ、職員一丸となって支援しています。

ケアホームでは、特に、環境整備に力を入れています。「居心地のいい環境を提供しよう」ということで、ハード面はもちろん、職員のあいさつ、雰囲気、静かな空間など利用者様が落ち着いて過ごせるように 日々試行錯誤しながらサービスの提供をしています。

看護小規模多機能型居宅介護ならではの柔軟な対応として、急な「泊り」、体調に合わせた「通い」、そして訪問看護や訪問介護で健康な生活を維持できるよう支援しています。「通い」では、季節の行事やドライブなど、利用者様と一緒に、笑い、楽しんで、「訪問介護」を増やし、在宅生活のリズムの調整を図っています。事業所内の理学療法士と連携し、個別性の高い専門的なりハビリも行い、機能維持に努めています。「泊り」では、看護職員がオンコール体制を取っており、利用者様にも、働く介護職員にも、安心して過ごせる夜間を提供させていただいています。

2年目の新型コロナウイルス感染拡大により、感染対策を実施して、利用者様が体調を崩さないように、日々の健康管理をさせていただいています。

【自己評価の実施概要】

事業所自己評価 実施日	西暦 2022 年 2 月 1 日	従業者等自己評価 実施人数	(15) 人	※管理者を含む
----------------	-------------------	------------------	----------	---------

【運営推進会議における評価の実施概要】

実施日	西暦 2022 年 3 月 26 日	出席人数 (合計)	(7) 人	※自事業所職員を含む
出席者 (内訳)	<input checked="" type="checkbox"/> 自事業所職員 (3 人) <input checked="" type="checkbox"/> 市町村職員 (1 人) <input type="checkbox"/> 地域包括支援センター職員 (___ 人) <input checked="" type="checkbox"/> 地域住民の代表者 (3 人) <input type="checkbox"/> 利用者 (___ 人) <input type="checkbox"/> 利用者の家族 (___ 人) <input checked="" type="checkbox"/> 知見を有する者 (1 人) <input type="checkbox"/> その他 (___ 人)			

■前回の改善計画の進捗評価

項目	前回の改善計画	実施した具体的な取組	進捗評価	
			自己評価	運営推進会議における意見等
I. 事業運営の評価 (評価項目 1~10)	<ul style="list-style-type: none"> ・看護小規模多機能型居宅介護サービスとして、地域で唯一の看護サービスができる事業所として、更に住み慣れた家で在宅での療養をしながら続けられるように、利用者・家族のニーズに合わせ対応していく。 ・新型コロナウイルス感染症には気を付け、オンライン研修や事業所内での研修も含め、職員のスキルアップができるように、個別の目標を立て、年 1 回の外部研修、内部研修 2 回以上の参加を推奨していく。家庭との両立のため、内部研修のほうを 4 回から 5 回に増やして研修機会を確保する。 ・365 日 24 時間対応の事業所なので、職員の確保をし、働 	<p>新型コロナウイルス感染拡大の影響で、行事もホームの中だけで、家族や地域の方の参加もなしで、大きな行事もなくなり、閉鎖的な 2 年。利用者様・ご家族様のも感染予防にご協力いただき、感染者なく、過ごすことができている。</p> <p>人手不足が続き、新規の利用者は消極的な受け入れだったが、医療保険での看護サービスの方や退院からの介護指導を行い、一層医療との連携を図った。</p> <p>働くご家族のために、柔軟に対応して、県外に出かける家族に対しては、連続利用で待機期間を設け、安心して自宅で生活できるようにした。</p> <p>有休取得も計画的に行い、人</p>	<p>今年度は、新型コロナウイルス感染拡大の影響で、閉鎖的になった。研修は、オンラインの研修や、業務の中で資料を基に参考にして、スタッフ間で勉強していった。スタッフ間での勉強会は今後も広げていきたい。コロナ禍のなか、外部研修に行ったスタッフもいるが、外部の方と会って研修することは、生きた研修と痛感する。</p> <p>新人研修の中で、看護小規模多機能型サービスの仕組みや地域包括ケアについて、今一つ理解ができていないところもあるので、勉強会をする必要を感じる。</p> <p>感染防止、BCP などの委員会までは、到達していないが、次年度はやっていく必要があ</p>	<p>地域に唯一の看護小多機として、医療ニーズの高い方の病院と施設のつなぎ役として、大いに発展してください。</p> <p>感染対策を実施しつつ、運営推進会議を開催頂き、情報交換できたのは、良かったと思っております。</p> <p>人員不足で大変だと思いますが、ハラスメント対策や有休取得増加に努め働きやすい環境を作ってください。</p> <p>新型コロナウイルス感染症の予防のため、色々な制限により満足な取組ができなかったことがうかがえます。ただ、</p>

		<p>きやすい職場づくりのため、有給休暇（時間有休）を活用し、コミュニケーションを図り職員が元気で明るく、利用者・家族にかかわれるようにする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・看護職員と介護職員の情報共有、看護職員からの介護職への指導・助言で、細やかな予測の下、サービス提供を行う。 ・災害マニュアルの見直し、訓練の実施、業務継続計画（BCP）の作成、感染防止対策・委員会の開催、ハラスメント対策など着手していく。 	<p>員不足のないようにした。休憩の確保も工夫で改善できた。</p> <p>感染防止対策や業務継続計画（BCP）については研修参加した。</p>	<p>る。</p>	<p>人員の確保や人材育成は喫緊の課題であり、速やかな対応が求められます。また、防災マニュアルは整備しているが、感染防止対策や事業継続計画が作成されておらず、早急な取組をお願いします。</p> <p>事業所の特徴を生かし、自宅・地域での介護をすすめていただいています。</p>
<p>Ⅱ. サービス提供等の評価</p>	<p>1. 利用者等の特性・変化に応じた専門的なサービス提供（評価項目 11～27）</p>	<p>・病院や施設から、在宅復帰ができるように、入院（所）中から連携を取りながら、次回受診には、病医院へ在宅の様子を報告し、病状の安定した生活が送れるよう介護・看護サービス提供する。特に理学療法士の専門的意見を取り入れ、在宅環境を整えていく。中心は「通い」であるが、訪問介護・看護を効果的に取り入れて、柔軟に組み合わせながら、提供していく。</p>	<p>介護職と看護職の情報共有や相談や指導、助言で、利用者様の状態変化などに迅速に対応してきた。</p> <p>コロナ禍で、認知症の症状が進行する方があり、入所の件数6件と増えたことがあるが反面、入院すると面会ができないことで、在宅を望む方もあり、早期の退院やホームでの介護指導から在宅へ結びつけることができた。</p> <p>看護職と介護職で協同し指導し、機能を活かせるようPTからのリハビリ指導もしながらおこなった。</p> <p>今年度大きな災害（台風、雪</p>	<p>理学療法士の需要が多く、訪問看護ステーションの訪問が増え、ホームでのかかわりが少なくなったが、訪問看護での訪問リハビリは利用者の満足度アップと家族指導・在宅での機能維持に役立っている。</p> <p>コロナ禍での在宅介護への思いは、利用者様とご家族様のつながりをきらないことも痛感した年であるもあるので、更なる在宅継続への支援を医療と連携しながらやっていくことが重要と考える。</p>	<p>理学療法士の配置は魅力的ですね。この地域でも独居高齢者や高齢夫婦世帯が急速に増加して来ています。各人に合ったサービスを考え、実施していただきありがたいと思っております。コロナ禍ですが、避難訓練は大切です。やり方を工夫してでも定期的に行うことが大切です。</p> <p>新型コロナ等の予防に留意して、利用者等や職員間のコミュニケーション不足にならない</p>

			など)なく、平穩だった。避難訓練は時期が違うが、ホーム内で行った。		いように努めてください。マスクで口元が隠れている影響はいかがですか。工夫はされていますか。
2. 多機関・多職種との連携 (評価項目 28~31)	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者様・家族様を取り巻く、多職種・多機関との連携を入院(所)中から行い、計画に反映できるように、関わっていく。 ・看護サービスを必要とする医療度の高い利用者には、医師の指示の下、専門的見地から療養ができるように看護職・リハ職が対応し、介護職への指導も行っていく。 	利用者ごとに担当を決め、プランの変更とともに、ケアの留意点の変更も行うようにして、カンファレンスは担当者が評価、課題の抽出も行えるようにケアマネ中心で運営を行った。看護職同士のカンファレンスから、より専門的な課題抽出を行い、介護職への指導も行っていった。	担当を決めて、カンファレンスを行うことで利用者に寄り添った介護サービスの提供が行えるうえ、スタッフのスキルアップにもつながる。看護サービスでのカンファレンスを開催するようにして、医療的な課題抽出に役立った。リハビリや病状のことなども、主治医と相談や報告して在宅療養の方針を決めることができた。	利用者一人一人に担当の方が決まっているのは、継続的支援に大変効果的と思えます。引き続き、利用者に寄り添った計画作成を行ってください。コロナ禍における行動制限により認知症の悪化が散見されるとのこと、インフォーマルサービスとの連携が重要と考えます。	
3. 誰でも安心して暮らせるまちづくりへの参画 (評価項目 32~41)	<ul style="list-style-type: none"> ・地域との交流を職員も積極的に持つことで、利用者様・家族様の地域でのかかわりが増えるようにしていく。 ・地域の圏域会議には、管理者・ケアマネ以外にも積極的に参加し、地域の現状を職員皆が実感して、利用している方々の現状に照らし、何が必要で、何ができるのかを検討し、介護計画にも盛り込みサービス提供へつなげる。 ・便りやHPなどで情報発信も積極的に行い、地域包括ケアシステムの中の一員として、 	新型コロナウイルス感染拡大の影響により、夏祭りやサロンへの訪問などできなかったが、民生委員の研修会に参加させていただき、看護小規模多機能型居宅介護についての啓発活動を行うことができ、まちづくりの一端となった。散歩やドライブに行くと、地域の方に声をかけていただくこともあった。広報やホームページで利用者様の笑顔に乗せることができた。ご家族とも連絡ノートや電話、メールなどで、ご近所様	民生委員研修会に参加させていただいて、地域の方へ当事業所のサービスを少しでもわかっていただけた。地域包括ケアの一員として、貢献できるよう今後も啓発活動は必要である。最期までこのサービスを希望されている方がいる中で、家族との関わりはとても重要で、季節ごとの行事では、写真をいっぱい撮ってプレゼントしたり、連絡ノートにきづいたことや、どんなことしたかなど、お伝えした。これは	「誰でも安心して暮らせる社会」とかいつも社協が言っていますが、難しいですね。多少料金が高くても、最期まできめ細かく在宅と施設を組み合わせさせて見てもらえる、この期待にこたえてください。民生委員定例会の研修で、看護小規模多機能型施設の説明を頂き、ありがとうございました。委員は、金光地区内3施設の特長を知ることがで	

		<p>利用していただきやすい環境を地域のサロンや夏祭りやキャラバンメイト活動など通してPRしていく。</p>	<p>には電話で連絡をとり、現在の様子を知っていただくことで、安心していただけるようにした。</p> <p>感染対策を行いながら、短時間で、白寿のお祝いをしたことは、家族に喜ばれた。</p>	<p>今後も続けて、コロナ禍でも利用者様家族との寄り添いを大事にしたいと考えている。</p>	<p>きて、地域の高齢者への説明や支援に自信を持ってあたれると喜んでおります。</p> <p>医療機関、看護職、介護職の連携ができているとのこと、今後は職員個々のレベルアップを含め、一層の充実を図ってください。民生・児童委員協議会の研修に出席して事業所の説明を分かりやすくしていただきました。</p>
<p>Ⅲ. 結果評価 (評価項目 42～44)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者様・家族様の意思に寄り添い、住み慣れた家で在宅生活がおくれるように、コミュニケーションを取って行く。 ・高齢者の終末期の不安は、突然にやってくるかもしれないことに、しっかり目を向け、どのような生活が送りたいか、計画の見直し時等に話し合っていき、対応ができるようにしていく。 <p>安心で安全な在宅生活へつなげていく。</p>	<p>新型コロナウイルス感染症の感染拡大で、マスク生活は利用者様・ご家族様にはとてもストレスの多いことで、スタッフも感染症を持ち込まないように、一層の感染防止の行動で、気を遣う一年だった。マスクやガウン、フェイスシールド越しではあるが、何か楽しいことをと模索しながら、サービス提供をしていった。</p>	<p>家族にコミュニケーションの取り方が変わってきた。</p> <p>家族のかかわりも増え、後もアプローチしていく必要がある。</p> <p>一人でも多く、家で、地域で最期を迎えることができるように支援するのが、私たちの役割だと考える。</p> <p>入所・入院が多かったが、新規利用者様・家族様が当事業所を利用することで、安心・安全に在宅生活ができた、と評価をいただけていることを深く感謝したいと思います。</p> <p>もっと、笑顔のある生活を(マスク越しだが)感じていただけるような対応をしたいと感じている。</p>	<p>コロナ禍において、地域や外部との交流が制限されているが、SNSなどを活用し情報共有を図ってください。</p> <p>独居の高齢者が増加する中で、緩和ケアの重要性が大きくなっています。地域とも連携し、対応してください。</p> <p>コロナ禍の中、色々と工夫して各種プログラムを計画・実施されていて、利用者等の満足度は高いと思います。</p>	

※自己評価・運営推進会議における評価の総括を記載します

■ 今回の「評価結果」および「改善計画」

項目	評価結果	改善計画
<p>I. 事業運営の評価 (評価項目 1～10)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染拡大により、外部との接触の制限が続いたが、少しずつではあるが、感染対策を講じて、オンライン研修に参加したり、感染対策がしている研修場には参加した。人員不足だが各々職員が協力して、看護小規模多機能型サービスの使命として、利用者様や家族様に寄り添いサービスを行ってきた。 ・徐々に人員の確保をしていっているが、新人職員はまだ、基本理念やサービスの内容のしんとうしていないところもあるので、日々理解できるように丁寧に指導していくことが必要。 ・災害マニュアルの見直しはまだできていないが、火災時の避難訓練については、年2回実施し、問題点や確認をすることができたので、防災についても今後の課題として、取り組んでいく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・看護小規模多機能型居宅介護サービスとして、地域で唯一の看護サービスができる事業所として、更に住み慣れた家で在宅での療養をしながら続けられるように、利用者・家族のニーズに合わせて対応していく。 ・新型コロナウイルス感染対策を十分に示して、オンライン研修や事業所内での研修も含め、職員のスキルアップができるように、個別の目標を立て、年1回の外部研修、内部研修2回以上の参加を推奨していく。365日24時間対応の事業所なので、職員の確保をし、働きやすい職場づくりのため、有給休暇(時間有休)を活用し、職員と管理者との面談機会を作り、コミュニケーションを図り職員が元気で明るく、利用者・家族にかかわれるようにする。 ・看護職員と介護職員の情報共有、看護職員からの介護職への指導・助言で、細やかな予測の下、サービス提供を行う。 ・災害マニュアルの見直し、訓練の実施、業務継続計画(BCP)の作成、感染防止対策・委員会の開催、ハラスメント対策などグループ全体で実践していく。

<p>Ⅱ. サービス提供等の評価</p>	<p>1. 利用者等の特性・変化に応じた専門的なサービス提供（評価項目 11～27）</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・介護職と看護職の情報共有や相談や指導、助言で、利用者様の状態変化などに迅速に対応してきた。 ・看護職からの専門的な介護指導を利用者・家族等にわかりやすい説明を図式など活用して、安心して在宅生活をしていただけるようつなげることができた。 ・理学療法士との連携、訪問リハビリで、機能向上、機能維持はできているので、継続してやっていくことが必要である。 	<ul style="list-style-type: none"> ・病院や施設から、在宅復帰ができるように、入院（所）中から連携を取りながら、次回受診には、病医院へ在宅の様子を報告し、病状の安定した生活が送れるよう介護・看護サービス提供する。特に理学療法士の専門的意見を取り入れ、在宅環境を整えていく。ホーム内でも、リハビリ指導を、研修を交えながらやっていく。 ・中心は「通い」であるが、訪問介護・看護を効果的に取り入れて、生活の中での機能訓練ができるように柔軟に組み合わせながら、提供していく。
	<p>2. 多機関・多職種との連携（評価項目 28～31）</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・担当を決めて、カンファレンスを行うことでより利用者様のことを把握して、主体性をもってプランの見直し、再作成への助言ができている。責任をもってかかわれることにもつながっている。 ・利用者様の状況に応じて、他職種の意見を伺い、対応していた。そうすることで、適切な対応ができた。主治医からの意見をいただくため、書面での報告や面談なども行った。 ・地域で見守ってくださっている方との連絡も定期的に行っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者様・家族様を取り巻く、多職種・多機関との連携を入院（所）中から行き、計画に反映できるように、関わっていく。 ・看護サービスを必要とする医療度の高い利用者には、医師の指示の下、専門的見地から療養ができるように看護職・リハ職が対応し、介護職への指導も行っていく。
	<p>3. 誰でも安心して暮らせるまちづくりへの参画（評価項目 32～41）</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・地域推進ケア会議や介護保険運営会議への出席など、地域包括ケアシステムの一環を担うことへの協力や参加に努めた。リモートでの研修参加は、3人。リモート参加より、感染対策を講じている場所へは、半数の職員が参加した。 ・今年度は民生委員・児童委員協議会へ事業所の説明会へ参加させていただき、看護小規模多機能型サービスについての啓発に役立った。このような機会があれば、積極的参加していく。 ・ホームは原則面会禁止となっている。窓越しの面会で、電話で話していただく機会が3回ほどあった。テラスでの活動や庭の畑作業など、地域の方の目に触れることは続けていきたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍で地域との直接的な交流は、まだ難しいが、ホームの周辺での活動（畑作業や散歩、日光浴など）をして、地域の目に触れるようにしていく。 ・地域の圏域会議には、管理者・ケアマネ以外にも積極的に参加し、地域の現状を職員皆が実感して、利用している方々の現状に照らし、何が必要で、何ができるのかを検討し、介護計画にも盛り込みサービス提供へつなげる。 ・便りやHPなどで情報発信も積極的に行い、地域包括ケアシステムの中の一員として、利用させていただきやすい環境を地域のサロンや民生委員さんの集まりやキャラバンメイト活動など通してPR、啓発活動を継続していく。

III. 結果評価 (評価項目 42～44)	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者様、家族様に寄り添ったサービス提供ができたかどうか、アンケートよりほぼ満足と答えてくださっている。目標達成できたかどうかについて、機能維持や健康に過ごせるなど変わらず、皆さまが過ごせている。安心して過ごせるかどうかについては、高齢者の介護を高齢の家族でとか、一人暮らしなど、不安定さがあるための不安があるので、「安心」とまではいかない。その不安を軽減させる必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者様・家族様の意思に寄り添い、住み慣れた家で在宅生活がおくれるように、コミュニケーションを取って行く。 ・高齢者の終末期の不安は、突然にやってくるかもしれないことに、しっかり目を向け、どのような生活を送りたいか、計画の見直し時等に話し合っていき、対応ができるようにしていく。 ・高齢者同士の老々介護、独居など不安定要素には、特に寄り添って、地域の方と連絡を取り合いながら、安心して安全な在宅生活へつなげていく。
---------------------------	--	--

■ 評価表 [事業所自己評価]

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における意見等	評価の視点・評価にあたっての補足
		よくできている	おおよそできている	あまりできていない	全くできていない		
I 事業運営の評価 [適切な事業運営]							
(1) 理念等の明確化							
① 看護小規模多機能型居宅介護の特徴を踏まえた理念等の明確化とその実践							
1	○ サービスに求められる「①医療ニーズの高い利用者の在宅生活の継続支援」、「②在宅での看取りの支援」、「③生活機能の維持回復」、「④家族の負担軽減」、「⑤地域包括ケアへの貢献」を含む、独自の理念等を掲げている		○			<ul style="list-style-type: none"> ・看護小規模多機能型だから、医療ニーズの高い利用者への対応も看取り支援も可能なですね。大変心強いです。「できていない」との事業所自己評価があり、理念は明確になっているか？ 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ ①～⑤の全てを含む理念等がある場合は「よくできている」 ✓ ①～⑤の一部を含む理念等が掲げられている場合は、「おおよそできている」もしくは「あまりできていない」 ✓ 独自の理念等が明確化されていない場合は「全くできていない」
2	○ サービスの特徴および事業所の理念等について、職員が		○			<ul style="list-style-type: none"> ・職員に理念の徹底を実践ください。 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 「サービスの特徴および理念等を踏まえた実践」の充足度を評価し

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における意見等	評価の視点・評価にあたっての補足
		よくできて いる	おおよそ できている	あまりで きていな い	全く できていな い		
	その内容を理解し、実践している	[具体的な状況・取組内容] ・看取りの支援できている。 ・家族の急な利用依頼にも対応できている、負担軽減できている。 ・新人職員には、オリエンテーションの時に理念を説明し、理解できるように説明しているが、もっと深める必要がある。 ・1つの事業所で一体化していることにより、「通い」「泊り」「訪問介護」「訪問看護」を柔軟に組み合わせ、急な対応にも柔軟に対応している。					ます ✓ 独自の理念等が明確化されていない場合は「全くできていない」
(2) 人材の育成							
① 専門技術の向上のための取組							
3	○ 職員との話し合いなどを通じて、各職員の中長期的な育成計画などを作成している		○			・個々の職員の中長期的な育成計画、その達成状況はどうなっていますか？また、その結果により、計画の変更を実施してください。	✓ 「育成計画の作成」の状況について、充足度を評価します ✓ すべての職員について育成計画などを作成している場合は「よくできている」 ✓ 育成計画などを作成していない場合は「全くできていない」
4	○ 法人内外の研修を受ける機会を育成計画等に基づいて確保するなど、職員の専門技術の向上のための日常業務以外での機会を確保している		○			・外部の研修は大半が開催されず、受講が困難な状況ですが、リモート研修や内部研修を充実するなどの取り組みを図ってください、	✓ 「専門技術の向上のための日常業務以外での機会の確保」について、充足度を評価します
② 介護職・看護職間の相互理解を深めるための機会の確保							
5	○ 介護職・看護職・介護支援専門員の間で、職員が相互に情	○				情報共有は特に大切です。次につながるように記録に残すよ	✓ 「情報を共有する機会」の充足度を評価します

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における意見等	評価の視点・評価にあたっての補足
		よくできている	おおよそできている	あまりできていない	全くできていない		
	報を共有する機会が、確保されている	[具体的な状況・取組内容] ・申し送りや連絡ノート等の情報伝達で共有できている。カンファレンスもしている。 ・申し送り時にミニカンファレンスを行っている。 ・申し送りなど、具体的に日勤リーダーに伝え、全体申し送りしている。				うにしましょう。定期的な申し送りなどで情報共有できていると思います。	✓ 例えば「利用者等の具体的なケースについて話し合うための、定期的なカンファレンスの開催」などが考えられます
(3) 組織体制の構築							
① 運営推進会議で得られた意見等の反映							
6	○ 運営推進会議で得られた要望、助言等を、サービスの提供等に反映させている		○			・ケアキャビネットを活用し、リモートで運営推進会議を開催してみてもいいでしょうか。	✓ 「得られた要望・助言等のサービスへの反映」の視点から、充足度を評価します
② 職員が安心して働くことができる就業環境の整備							
7	○ 職員が、安心して働くことができる就業環境の整備に努めている		○			・運営推進会議が開催されず、状況報告だけとなっているが、メール等を利用して要望、助言を得てはどうか。 就業環境の整備ができているとのことですが、一方では人手不足で新規の受け入れができていない状況があり、人員の確保を早急に実施してください。	✓ 「職員が、安心して働くことのできる就業環境」の充足度を評価します ✓ 例えば、「職員の能力向上の支援」、「精神的な負担の軽減のための支援」、「労働時間への配慮」などが考えられます
(4) 情報提供・共有のための基盤整備							
① 利用者等の状況に係る情報の随時更新・共有のための環境整備							
8	○ 利用者等の情報について、随	○				利用者等の情報の随時更新、	✓ 「情報の随時の更新」と「職員間

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における意見等	評価の視点・評価にあたっての補足
		よくできている	おおよそできている	あまりできていない	全くできていない		
	時更新を行うとともに、必要に応じて職員間で迅速に共有できるよう工夫されている					共有ができています。	で迅速に共有するための工夫」の2つの視点から、充足度を評価します
		[具体的な状況・取組内容] <ul style="list-style-type: none"> ・朝・夕の申し送り時に共有できている。 ・申し送り、カンファレンスなどで、日々の情報の更新、職員間で認識しあえるよう声掛けができています。 ・その都度、情報共有し問題を把握できている。 ・ケアの留意点・ケアプラン等で確認できている。 ・毎日の情報伝達で、日常のスタッフ間のコミュニケーションができています。 					
(5) 安全管理の徹底							
① 各種の事故に対する安全管理							
9	○ サービス提供に係る利用者等および職員の安全確保のため、事業所においてその具体的な対策が講じられている		○			事故発生した場合は市のほうへ事故報告して下さい。また、事故原因を追究し、手順の見直し等の予防が大切です。ヒヤリハット訓練などで対策を図っていますが、漫然と繰り返しているだけになることがあります。	✓ 「各種の事故に対する予防・対策」の充足度を評価します 対策が求められる事項としては、例えば「医療・ケア事故の予防・対策」、「交通安全」、「夜間訪問時の防犯対策」、「個人情報保護」などが考えられます
		[具体的な状況・取組内容] <ul style="list-style-type: none"> ・ヒヤリハットノートに記入して、安全確保のために対策している。 ・ヒヤリハットノートの活用。 ・事故予防・対策を考え活用している。 ・一人で行う時も必ず安全確認をして、決められたルールを守っている。 ・安全向上委員会での対策の検討、ヒヤリハットへの対応の確認ができています。 					
② 災害等の緊急時の体制の構築							
10	○ 災害などの緊急時においても、サービス提供が継続できるよう、職員、利用者、関係機関の間で、具体的な対応方針が共有されている		○			災害はいつ起こるかわかりません。日頃から災害に備えましょう。 ・緊急時の体制は、平常時から訓練を徹底することで機能します。火災だけでなくほかの災害も定期的な訓練を実施してください。	✓ 「緊急時におけるサービス提供のための備え」について、充足度を評価します ✓ 例えば、「安否確認方法の明確化」、「連絡先リストの作成」、「医療材料などの確保」、「災害時ケアのマニュアル化」などが考えられます
		[具体的な状況・取組内容] <ul style="list-style-type: none"> ・火災においては、避難訓練を定期的に行っている。 ・マニュアル、緊急連絡先リストで共有されている。 					
II サービス提供等の評価							

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における 意見等	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できている	あまりで きていな い	全く できていな い		
1. 利用者等の特性・変化に応じた専門的なサービス提供							
(1) 利用者等の状況把握及びアセスメントに基づく計画の作成							
① 利用者等の 24 時間の暮らし全体に着目した、介護・看護両面からの一体的なアセスメントの実施							
11	○ 在宅時の利用者の生活状況や家族等介護者の状況等を含む、利用者等の 24 時間の暮らし全体に着目したアセスメントが行われている		○			具体的な事例などで、目標やフィードバックの徹底を図ってください。 独居の利用者も多く、本人や家族からの情報だけでは状況把握できない場合もあります。地域の住民などにも情報を得るようにしてください。	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 「家族等も含めた 24 時間の暮らし全体に着目したアセスメント」の充足度を評価します ✓ ケアが包括的に提供される看護小規模多機能型居宅介護においては、家族等を含めた 24 時間の暮らし全体に着目したアセスメントが必要となります
12	○ 介護職と看護職がそれぞれの視点から実施したアセスメントの結果が、両職種の間で共有されている		○			介護職と看護職それぞれの視点でのアセスメントにより、それを共有することでより情報を得ることができます。	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 「介護職と看護職間でのアセスメント結果の共有」について、充足度を評価します ✓ 介護・看護の両面から行われたアセスメントの結果は、その後のつき合わせなどを通じて、両職種で共有されることが望ましいといえます
② 利用者等の「尊厳の保持と自己実現の達成」を重視した計画の作成							
13	○ 家族を含む利用者等の考えを把握するとともに、その目標の達成に向けた計画が作成されている		○			利用者本人の意向を破格することが、難しい場合もあると思いますが、適切な対応をお願いします。	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 「家族等の考えを含めた計画の作成」について、充足度を評価し利用者のみでなく、家族等の考えを適切に把握するとともに、その考

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における 意見等	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できている	あまりで きていな い	全く できていな い		
		[具体的な状況・取組内容] ・本人・家族の意向を聞いて計画表を作成している。					えを含めた計画を作成することは重要であるといえます
14	○ 利用者の有する能力を最大限に活かした、「心身の機能の維持回復」「生活機能の維持又は向上」を目指すことを重視した計画が作成されている		○			機能の維持回復には、利用者本人のやる気が重要な要素となります。精神的なサポートも含め、計画を作成してください。	✓ 「利用者の有する能力を活かした、心身機能の維持回復を重視した計画の作成」について、充足度を評価します ✓ 「利用者が尊厳を持って、その有する能力に応じ地域において自立した日常生活を営む」ために、必要な視点であるといえます
③ 利用者の今後の状況変化の予測と、リスク管理を踏まえた計画の作成							
15	○ 利用者の今後の状況変化の予測と、リスク管理を踏まえた計画が作成されている		○			状況変化に合わせ、随時計画を変更してください。	✓ 「状況変化の予測」と「リスク管理」の2つの視点から、充足度を評価します ✓ 介護・看護が一体的に提供される看護小規模多機能型居宅介護においては、特に看護職による予後予測などを踏まえて計画を作成することが重要です
(2) 利用者等の状況変化への迅速な対応とケアマネジメントの実践							
① 継続したアセスメントを通じた、利用者等の状況変化の早期把握と計画への反映							

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における 意見等	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく でき ている	おおよそ でき ている	あまりで きてい ない	全く でき てい ない		
16	○ サービス提供を通じた継続的なアセスメントにより、利用者等の状況変化を早期に把握し、計画への適宜反映が行われている	○				画一的にならぬよう継続的なアセスメントをお願いします。利用者特有の事情も考慮し、計画へ反映させてください。	✓ 「早期の把握」と「計画への適宜反映」の2つの視点から、充足度を評価します
		[具体的な状況・取組内容] ・朝・夕の申し送りで、情報更新をし、早期対応できるようにしている。 ・適宜、計画を見直し反映されている。					
② 居宅への訪問を含む、利用者等の暮らし全体に着目したアセスメントの実施と計画への反映							
17	○ 通い・泊まりの利用に過度に偏らないよう、適時適切に利用者宅を訪問することで、家族等を含めた居宅での生活状況の変化を継続的に把握している	○				利用者の状況変化を踏まえ、流動的に訪問時期の変更も考えられます。	✓ 利用者の状況変化を踏まえ、流動的に訪問時期の変更も考えられます。
		[具体的な状況・取組内容] ・ケアマネが定期的に訪問しているので、状況の変化に対応できている。 ・適宜、モニタリングを行い理解に努めている。					
③ 利用者等の状況変化や目標の達成状況等に関する関係多職種との情報共有							
18	○ 利用者等の状況変化や目標の達成状況等について、主治医など、事業所内外を含む関係多職種と情報が共有されている		○			介護職との情報共有はどうなっていますか。	✓ 「利用者等の状況変化や目標の達成状況等の事業所内外を含む関係多職種との情報共有」について、充足度を評価します
		[具体的な状況・取組内容] ・母体の主治医との訪問看護のカンファレンスを月1回カンファレンスの開催により共有している。					
(3) 介護職・看護職の協働による一体的なサービスの提供							
① 介護職と看護職の相互の専門性を生かした柔軟なサービスの提供							
19	○ 介護職と看護職のそれぞれの専門性を最大限に活かしながら、柔軟な役割分担が行われている	○				業務状況によって、役割分担ができていますでしょうか。	✓ 「介護職と看護職の専門性を活かした役割分担」について、充足度を評価します ✓ 介護・看護が一体的に提供される看護小規模多機能型居宅介護では、効果的・効率的なサービス提供のために、各々の専門性を活か
		[具体的な状況・取組内容] ・申し送りや記録にて状況把握しサービス					

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における 意見等	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できている	あまりで きていな い	全く できていな い		
		提供に活かす。 ・記録、ケア等で分担できている。何かあれば、看護師に報告する。					した役割分担や、業務の状況等に 応じた柔軟な役割分担を行うことが 重要です
20	○ 利用者等の状況について、介護職と看護職が互いに情報を共有し対応策を検討するなど、両職種間の連携が行われている	○				職種間の連携がとれていると思います。	✓ 「介護職と看護職の情報共有および対応策の検討」について、充足度を評価します
		[具体的な状況・取組内容] ・申し送りやカンファレンスにて、情報交換、連携とれている。 ・カンファレンス等、職種の垣根なく参加している。					
② 看護職から介護職への情報提供および提案							
21	○ 看護職から介護職に対して、疾病予防・病状の予後予測・心身の機能の維持回復などの観点から、情報提供や提案等を行っている	○				看護師から介護職への情報提供ができています。	✓ 「看護職の専門性を活かした、介護職への情報提供や提案等」について、充足度を評価します ✓ このような情報提供や提案等は、看護職の専門性を活かした役割の1つとして期待されます
		[具体的な状況・取組内容] ・状況により、看護師より指示がある。 ・カンファレンスや、日々の情報伝達で意見交換できている。					
(4)利用者等との情報及び意識の共有							
① 利用者等に対するサービスの趣旨及び特徴等についての情報提供							
22	○ サービスの趣旨および特徴等について、分かりやすく説明し、利用者等の理解を得ている		○			利用者等への情報提供は、ケアマネージャーでも差し支えないと思いますが、職種に関係なく情報の共有を凶ってください。	✓ 「利用者等の理解」について、充足度を評価します
		[具体的な状況・取組内容] ・必要時都度説明をしている。 ・ケアマネ・管理者に任せっぱなしの面もある。					
② 利用者等への「在宅での療養生活」に係る指導・説明							

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における意見等	評価の視点・評価にあたっての補足
		よくできている	おおよそできている	あまりできていない	全くできていない		
23	○ 作成した計画の内容や在宅での療養生活の継続に向けて留意すべき点等について、分かりやすく説明し、利用者等の理解を得ている	○				聞きなれない専門用語だとわかりにくいと思います。写真・図式を用いて説明することはわかりやすいと思います。相手に寄り添って理解してもらえるように接していただきたいと思います。利用者等が納得することで計画達成の度合いが向上すると思います。	✓ 「利用者等の理解」について、充足度を評価します
		<ul style="list-style-type: none"> ・ケアマネが説明している。 ・サービス計画の個別的な内容が充足している。 ・連絡ノートや写真・図式などでわかりやすく説明した。 					
24	○ 利用者等が行う医療処置や医療機器の取り扱い方法、家族等が行うケアの提供方法等について、分かりやすく説明し、利用者等の理解を得ている	○				専門的な説明になりやすく利用者等の理解を得ることが難しいと思いますが、できるだけ不安を取り除いてください。	✓ 「利用者等の理解」について、充足度を評価します
		<p>[具体的な状況・取組内容]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・分かりやすく、不安のないよう説明できている。 ・処置等はしっかりと説明して行っている。 ・ケアの指導には、図式など利用してわかりやすく説明している。 ・適宜、指導・アドバイスがされている。 					
③ 重度化した場合や終末期における対応方針の、利用者等との相談と共有							
25	○ 利用者本人（意思の決定・表示ができない場合は家族等）の希望や意向を把握し、サービスの提供に反映している		○			「意思決定支援」これから大切な考え方となります。権利擁護では、ガイドラインなども作られているようです。利用者本人の意向確認が把握できない場合には、家族の思いを汲み取ってサービスに反映させてください。	✓ 「サービス提供への適切な反映」について、充足度を評価します
		<p>[具体的な状況・取組内容]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「思い」を大事にして意向を反映している。 ・終末における本人・家族の意向を確認されている。 					
26	○ 在宅生活の継続の可否を検討すべき状況を予め想定し、その際の対応方針等について		○			十分に相談しその対応方針を共有しておくことが大切です。在宅生活の継続の可否の判断	✓ 「将来に発生し得る様々なリスクを想定した上での、対応策の検討と共有」について、充足度を評価

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における 意見等	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できている	あまりで きていな い	全く できていな い		
	て、利用者等と相談・共有することができている	[具体的な状況・取組内容] ・家族の意向を聴きながら、対応方針等を話し合っている。				が必要になる場合には事前に判断基準を提示することも大事だと思います。	します
27	○ 終末期ケアにおいて、利用者等に適切な時期を見計らって、予後および死までの経過を丁寧に説明し、説明した内容や利用者等の意向等を記録として残している		○			経験を積んでより良い対応につなげてほしい。 説明した内容や対応等の記録は残していますか。	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 「予後および死までの経過の説明」と「記録の有無」の2つの視点から、充足度を評価します ✓ 「丁寧に説明し」且つ「記録として残している」場合は「よくできている」
2. 多機関・多職種との連携							
(1) 病院・施設等との連携による円滑で切れ目のないケアの提供							
① 病院・施設等との連携や情報共有等による、在宅生活への円滑な移行							
28	○ 病院・施設等との連携・情報共有等により、病院・施設等からの、利用者の円滑な在宅生活への移行を支援している		○			在宅において、自立した生活を営むことができるよう適切な支援をお願いします。 メディカルソーシャルワーカーとの連携は在宅生活への移行に向けて非常に有効です。	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 「利用者の円滑な在宅生活への移行」について、充足度を評価します ✓ 例えば、「退院・退所前のカンファレンスへの参加」、「利用者等に係る病院・施設等との継続した情報共有」などの取組が考えられます
② 入院・入所の可能性がある利用者についての、主治医等との対応方針の共有							
29	○ すべての利用者について、緊急時の対応方針等を、主治医		○			緊急時でも適切に対応できるよう日頃から体制づくりに努	✓ 「緊急時の対応方針等の主治医等との相談・共有」を評価します

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における意見等	評価の視点・評価にあたっての補足
		よくできている	おおよそできている	あまりできていない	全くできていない		
	等と相談・共有することができている	[具体的な状況・取組内容] ・訪問看護指示書の報告時、適宜医師と面談し、疑問点や方針など相談・共有している。 ・連絡票で主治医の意見を求め確認している。				めてください。 緊急時の対応方針はいかがですか。	✓ 利用者の状態変化・家族等介護者の状況の変化など、実際に発生する前の段階から予め対応方針等を主治医等と相談・共有しておくことが重要です
③ 地域の医療機関等との連携による、急変時・休日夜間等に対応可能な体制の構築							
30	○ 地域の医療機関等との連携により、休日夜間等を含めて、すべての利用者について、急変時に即座に対応が可能な体制が構築されている			○		即座な対応が必要となるため、全ての利用者について整備ができていない必要がある。また、情報については常に最新のものに更新が必要です。医療機関等との連携はどうなっていますか。	✓ 「即座な対応が可能な体制の構築」について、充足度を評価します
[具体的な状況・取組内容] ・初回面談時、本人家族に急変時の対応について、確認書を用いて対応方法を確認している。ファイリングして、急変時の対応に役立っている。							
(2) 多職種との連携体制の構築							
① 運営推進会議等における、利用者のために必要となる包括的なサポートについての、多職種による検討							
31	○ 運営推進会議等において、利用者のために必要と考えられる包括的なサポートについて、民生委員・地域包括支援センター・市区町村職員等への情報提供や提案が行われている		○			・民児協で、毎年5月に実施していた施設訪問、ボランティア活動が、コロナの影響で実施できないのが残念です。集まって会議をする機会は減ってきています。リモート会議を活用することも考えてほしい。コロナ禍において定期的な運営推進会議が開催されておらず、包括的なサポート体制が十分機能しているとは言い難いと感じる。	✓ 「利用者のために必要となる、介護保険外のサービスやインフォーマルサポート等を含めたケアの提供について、多職種とともに検討・支援を行っていくなどの取組」の充足度を評価します ✓ そのような取組をしたいことがない場合は「全くできていない」 ✓ 民生委員のみでなく、自治会長や町会長などの住民代表も対象です
3. 誰でも安心して暮らせるまちづくりへの参画							
(1) 地域への積極的な情報発信及び提案							
① サービスの概要及び効果等の、地域に向けた積極的な情報の発信							

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における意見等	評価の視点・評価にあたっての補足
		よくできている	おおよそできている	あまりできていない	全くできていない		
32	○ 運営推進会議の記録について、誰でも見ることができるような方法での情報発信が、迅速に行われている	○				迅速な情報発信に努めてください。	✓ 「誰でも見ることができる方法での情報発信」と「迅速な情報発信」の2つの視点から、充足度を評価します
		<u>[具体的な状況・取組内容]</u> ・記録を見ることができる。 ・会議内容を早急にまとめ、回覧している。					
33	○ サービスの概要や地域において果たす役割等について、正しい理解を広めるため、地域住民向けの積極的な啓発活動が行われている		○			広報誌やHPは有効な情報発信ですが、地域への啓発活動として説明会やチラシ等での取り組みも積極的に実施してください。	✓ 「積極的な啓発活動」について、評価する項目です ✓ 例として、「チラシ等の配布」や「地域説明会の実施」などの取組が考えられます。 ✓ 利用者や職員の確保のみを目的とした活動等は除きます
		<u>[具体的な状況・取組内容]</u> ・コロナ禍のため、地域住民との交流はないが、民生委員協議会での説明会に出席。広報誌・さつきの里だより・ケアホームだよりの配布。 ・ホームページのブログ更新の復活。					
(2) 医療ニーズの高い利用者の在宅での療養生活を支える、地域拠点としての機能の発揮							
① 看護小規模多機能型居宅介護事業所の登録者以外を含む、地域への訪問看護の積極的な提供							
34	○ 看護小規模多機能型居宅介護事業所の登録者以外を対象とした訪問看護を積極的に実施している		○			登録者以外の訪問看護のためには看護職の充足が必要です。また、全体的な人員不足も影響します。	✓ 「指定訪問看護事業所の指定を併せて受けている事業所」のみが対象です。該当しない場合は、実施状況欄は無記入で、[具体的な状況・取組内容]欄に「指定なし」と記入してください ✓ 「登録者以外を対象とした訪問看護」を実施していない場合は、「全くできていない」 ✓ 「あまりできていない」～「よくできている」は、その「積極性」の視点から、充足度を評価します
		<u>[具体的な状況・取組内容]</u> ・訪問看護ステーションに応援体制で、訪問に行っている。					
② 医療ニーズの高い要介護者の積極的な受け入れ							

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における意見等	評価の視点・評価にあたっての補足
		よくできている	おおよそできている	あまりできていない	全くできていない		
35	○ 「たん吸引」を必要とする要介護者を受け入れることができる体制が整っており、積極的に受け入れている			○		夜間においても受け入れ可能ですか。	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 「積極的な受け入れ」について、充足度を評価してください ✓ 「受け入れることができる体制」が整っていない場合は、「全くできていない」 ✓ 「あまりできていない」～「よくできている」は、その「積極性」の視点から、充足度を評価します
		<u>[具体的な状況・取組内容]</u> ・徐々に痰吸引が必要となった方に、家族指導を含め、ホーム内、訪問看護で対応している。					
36	○ 「人工呼吸器」を必要とする要介護者を受け入れることができる体制が整っており、積極的に受け入れている				○		<ul style="list-style-type: none"> ✓ 「積極的な受け入れ」について、充足度を評価してください ✓ 「受け入れることができる体制」が整っていない場合は、「全くできていない」 ✓ 「あまりできていない」～「よくできている」は、その「積極性」の視点から、充足度を評価します
		<u>[具体的な状況・取組内容]</u> ・「人工呼吸器」を利用する施設整備ができていない。					
37	○ 「看取り支援」を必要とする要介護者を受け入れることができる体制が整っており、積極的に受け入れている			○		医師等との連携を引き続き行い、できるだけ在宅支援をお願いします。積極的な受け入れは、難しい面もありますが、体制の整備はお願いします。	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 「積極的な受け入れ」について、充足度を評価してください ✓ 「受け入れることができる体制」が整っていない場合は、「全くできていない」 ✓ 「あまりできていない」～「よくできている」は、その「積極性」の視点から、充足度を評価します
		<u>[具体的な状況]</u> ・現在の利用者の看取り支援は積極的にやっているが、新たな看取りの利用者の受け入れは状況による。					
(3) 地域包括ケアシステムの構築に向けての、まちづくりへの参画							
① 行政の地域包括ケアシステム構築に係る方針や計画の理解							
38	○ 管理者および職員が、行政が介護保険事業計画等で掲げている、地域包括ケアシステムの構築方針や計画の内容等について理解している		○			市のホームページで介護保険事業計画が閲覧可能です。地域包括ケアシステムについての理解を深めてください。	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 「内容等の理解」について、その充足度を評価します ✓ 地域包括ケアシステムの構築にあたっては、その中で各々が果たすべき役割を、明確に理解することが必要であるといえます ✓ 地域包括ケアシステムの構築方針や計画などが無い場合は、「全くで
		<u>[具体的な状況・取組内容]</u> ・介護保険事業計画の委員を管理者がさせていただいているので、それについての伝達は毎回行っているが、理解については、					

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における意見等	評価の視点・評価にあたっての補足
		よくできている	おおよそできている	あまりできていない	全くできていない		
		新人職員はまだ未習熟なところもある。					きていない
② サービス提供における、(特定の建物等に限定しない) 地域への展開							
39	○ サービスの提供エリアについて、特定の集合住宅等に限定せず、地域に対して積極的にサービスを提供している	○				特定の集合住宅等に限定せず、提供されていると思います。	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 「特定の集合住宅等に限定しない、地域への積極的な展開」について、充足度を評価します ✓ 看護小規模多機能型居宅介護は、特定の集合住宅等に限定することなく、地域全体の在宅療養を支える核として機能していくことが期待されます ✓ 特定の集合住宅等のみを対象としている場合は「全くできていない」
		<u>[具体的な状況・取組内容]</u> ・金光町、鴨方町の方の利用が主で、集合住宅には全く限定していない。					
③ 安心して暮らせるまちづくりに向けた、関係者等への積極的な課題提起、改善策の検討等							
40	○ 介護・看護の観点から、地域の関係者に対し、必要に応じて課題提起や改善策の提案等が行われている			○		今後はインフォーマルサービスとの連携は欠かせないと思えます。積極的に活用してください。	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 「課題提起や改善策の提案等の取組」について、その充足度を評価します ✓ 今後は、サービスの提供等を通じて得た情報や知見、多様な関係者とのネットワーク等を活用し、必要となる保険外サービスやインフォーマルサービスの開発・活用等、利用者等のみでなく地域における課題や改善策を関係者に対して提案していくなどの役割も期待されます ✓ そのような取組をしたことがない場合は、「全くできていない」
		<u>[具体的な状況・取組内容]</u> ・地域ケア会議等で発信している。当事業所での、インフォーマルなサービスの導入はなかなかできていない。					
41	○ 家族等や近隣住民などに対し、その介護力の引き出しや向上のための具体的な取組			○		独居もしくは高齢者だけの所帯の割合も多く、地域住民の協力が欠かせないと思えます。	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 「家族等や近隣住民に対する、介護力の引き出しや向上のための取組」について、その充足度を評価

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における意見等	評価の視点・評価にあたっての補足
		よくできている	おおよそできている	あまりできていない	全くできていない		
	等が行われている	[具体的な状況・取組内容] ・コロナ禍で地域住民との関わりが少ない。 ・定期的に、野菜や果物を持ってきてくださる方がいて、スタッフ以外のかたとの関わりが切れないようにして下さっている。				民生委員等との協力体制を築いてください。	します ✓ 今後は、利用者への家族等や近隣住民の関わりを促しながら、関係者全員の介護力を最大限に高めることにより、在宅での療養生活を支えていくための環境を整えていくなどの役割も期待されます ✓ そのような取組をしたことがない場合は、「全くできていない」

番号	評価項目	事業所自己評価	運営推進会議における意見等	評価の視点・評価にあたっての補足
Ⅲ 結果評価				
① 計画目標の達成				
42	○ サービスの導入により、利用者ごとの計画目標が達成されている	1. ほぼ全ての利用者について、達成されている・・・0人 2. 利用者の2/3くらいについて、達成されている・・・14人 3. 利用者の1/3くらいについて、達成されている・・・0人 4. 利用者の1/3には満たない・・・0 [具体的な状況・取組内容] ・在宅維持が出来るように支援で来ていると思う。	概ね達成できていると思います。	✓ 「計画目標の達成」について、評価します
② 在宅での療養生活の継続に対する安心感				
43	○ サービスの導入により、利用者およびその家族等において、医療が必要な状況下においての在宅での療養生活の継続に対し、安心感が得られている	1. ほぼ全ての利用者について、達成されている・・・1人 2. 利用者の2/3くらいについて、達成されている・・・12人 3. 利用者の1/3くらいについて、達成されている・・・1人	概ね達成できていると思います	✓ 在宅での看取りを除く、全ての利用者およびその家族等に対し、サービスの提供により実現された「医療が必要な状況下においての、在宅での療養生活の継続に対する安心感」について、評価します

番号	評価項目	事業所自己評価	運営推進会議における意見等	評価の視点・評価にあたっての補足
		4. 利用者の1/3には満たない・・・0人 <u>[具体的な状況・取組内容]</u> ・医療的な処置や日常生活の相談等により、安心感が得られている。		
44	○ サービスの導入により、在宅での看取りを希望する利用者およびその家族等において、在宅での看取りに対する安心感が得られている	1. ほぼ全ての利用者について、達成されている・・・2人 2. 利用者の2/3くらいについて、達成されている・・・6人 3. 利用者の1/3くらいについて、達成されている・・・1人 4. 利用者の1/3には満たない・・・4人 5. 看取りの希望者はいない・・・1人 <u>[具体的な状況・取組内容]</u> ・看取り指針は作成あり。 ・看取りの支援は、家族の介護力の維持も必要なため、家族を支えるための安心感が得られるように、家族に寄り添っている。	安心感が得られるよう日常から利用者・家族との関わりをしっかりと行ってください。 担当者間で達成状況の評価にバラツキがあることは、やむを得ないと思うが指針の徹底をお願いします。	✓ 在宅での看取りを希望する利用者およびその家族等に対し、サービスの提供により実現された「在宅での看取りに対する安心感」について、評価します ✓ 在宅での看取りは、事業所内（通い・泊まり）での看取りを含みます ✓ 在宅での看取りの希望者がいない場合は、「5. 看取りの希望者はいない」